

2011年3月 福島第一原発 爆発



2011年3月、原発事故が起きて放射性物質が
広い範囲に拡散しました。

福島第一原子力発電所
Fukushima Daiichi

250km



2011年4月のセシウム137降下量 Cs137 Fallout of April 2011

大量のセシウムが2011年3月に原発から出たが、遠隔地では観測されなかった。翌4月は風向との関係で、少量ながらも日本各地で観測された。

資料：文部科学省「環境放射能水準調査結果(月間降下量)」
(2011年7月発表、2011年12月14日修正)

単位：Bq/m²



私達家族は〇〇に住んでいました。原発から250kmほど離れた場所でした。

周囲の人たちは、事故は「福島」で起こった事であり、こんなに遠くなのだからと放射能汚染については関心がありませんでした。「まさかここまで飛んでこないよ」と・・・



〇〇ママパパの放射線だより

〇〇在住のママによる放射線情報まとめ

SEARCH



Home



About

▼ ホットスポット

▼ 放射線Map

▼ 給食のこと

▼ 水のこと

▼ 牛乳のこと

▼ お米のこと

▼ 放射能汚染

▼ 原発のこと

▼ 横浜

// home

LATEST POST

News

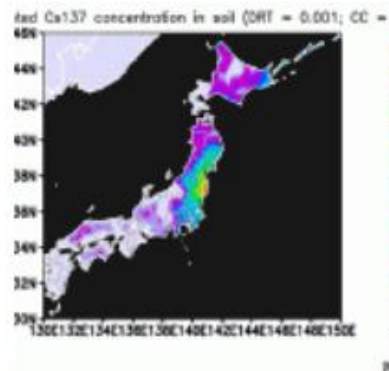
NEW!!

■ セシウム汚染シイタケ 調査不十分
新潟で販売[東京新聞]

■ 「内部被ばくを生き抜く」鎌仲ひとみ監督作品
上映会のお知らせ

■ 冷凍ミカンの実費2710万円を業者に支払い
セシウムの影響で給食中止 〇〇市教委
[産経新聞]

■ 「内部被ばく治療の経験から学ぶシンポジウム」開催のお知らせ [〇〇
8.29シンポジウム実行委員会より]



〇〇市給食検査結果

〇〇市の給食食材の検査結果を、
一覧表で確認できるように致しました。

■ 平成24年度の給食検査結果

■ 平成23年度の給食検査結果(1,3)


最新情報

■ 【出荷制限品目と自粛品目】6月20日
省]

その後、意識ある人たちの計測で、~~木~~でも放射能が到達して汚染されている事が後から後から明らかになってきました。



**神奈川県産の
ミカンから
セシウムを検出**



**足柄茶、箱根、真鶴、
湯河原のお茶からも
放射能物質を検出**

神奈川県全域が、濃度は様々ながら汚染されている事がわかりました。
お茶からも、みかんからも汚染が見つかりました。



不安と恐怖

自主対策

かつての楽しく明るい生活が一変しました。子ども達の健康被害を考え、ガイガーカウンターまで購入するおかしな生活が始まりました。



つらい別れ 子供の将来を信じて

私達夫婦は〇〇生まれ、〇〇育ちの長男・長女、生まれ育った〇〇の暮らしに溶け込み、まさか故郷を離れることを選択するなんて想像もできない、それは悪夢のようでした。

とても辛い選択でした。町の人も友人も引っ越す時には泣いてくれました。しかし、私達は汚染を深刻なものと考え、子どもの将来に対し悔いの無い選択肢として、最も安全だと確信したこちら〇〇市に移住してきました。

〇〇のまだ汚染されていない土地に
放射性物質を持ち込まないように・・・



処分

廃棄

〇〇で汚染された地面を踏みしめていた靴は処分してきました。靴底に放射性物質がついて、汚染をこの土地に運んでしまうのが申し訳なかったからです。徳島・〇〇のまだ汚染されていないこの土地に放射性物質を持ち込まないように、こうして多くのものを処分してきました。

放射性物質は様々なものに付着し、簡単に移動します。だから最小限の荷物で引っ越してきました。大げさと言う人もいますが、〇〇の土地に汚染を運びたくなかったのです。



**セシウム
4万200ベクレル**

比較的高い線量が検出された側溝の雨水取り入れ口の付近＝港北区大倉山5丁目で（市提供）

側溝や雨どいなど、水が流れて堆積する場所では「除染」が必要なほどの高濃度な汚染が見つかります。放射能汚染の濃縮です。



土・肥料

放射能の2次汚染

除染が必要なほどではない植え込みで、突然高濃度の汚染が見つかる事がありました。これは汚染の濃縮ではなく、植え込みに撒いた土・肥料が原因でした。

土や肥料は食品と違って放射能汚染の基準値がない・あっても相当緩いので、高濃度汚染のものが流通しています。これは放射能の二次汚染です。

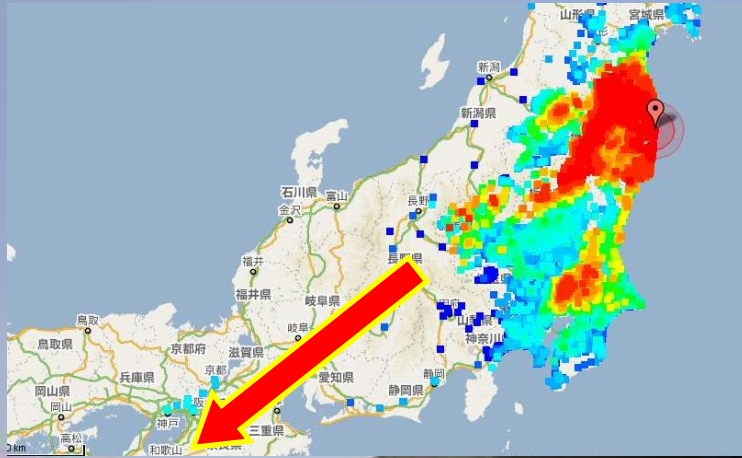


放射性物質・・・焼却灰になると濃縮

袋詰めされた下水汚泥焼却灰が積み、ブルーシートで覆われている＝横浜市金沢区の南部汚泥資源化センター

また、私が住んでいた〇〇では(もちろん関東全域)下水汚泥の焼却灰が一般廃棄物として取り扱えないほどの汚染数値となり、どこにも処分する事ができずコンテナに詰めて一時的に保管されていました。

〇〇市は保管していた焼却灰約2700トンを南本牧廃棄物最終処分場(中区)に埋め立てるといいますが、放射性物質は焼いても煮てもなくなり、蒸発もしないので焼却灰になると濃縮されてしまうのです。



物流は止められない

福島

千葉

群馬

西日本では土壌の汚染はほとんどないにもかかわらず、汚染のあるものが関東・東北から西日本に流通する事によってそれが後にゴミになり、ゴミ処分によって汚染が濃縮される事があります。



西日本は爆発による汚染は最小限であるのに、ごみ焼却や、土や肥料の汚染に対する危機感がなければあっという間に土地が二次汚染されていきます。

放射性物質は目に見えないために汚染を確認する事がなかなかできず、気づかないうちにせつかく汚染されていなかった土地が汚染されてしまい取り返しがつかないことになります。

汚染され、汚染が確認されれば西日本のモノと言っても農作物などは売れなくなってしまいます。これは「風評被害」などではなく、汚染されてしまった土地での作物は実害です。



●●でとれたお米

●●袋が完売

今、東日本では食材の放射能汚染の懸念から西日本のモノを選んで購入する人が多くいます。私も〇〇にいるときは安全な食材探しに苦労しました。

だから、放射能汚染を防ぐ意識がある土地の産物なら更に注目を集め、安全安心な食材を求めている人たちは「あえてこだわって」購入するでしょう。

**じつは、私達はこの秋に〇〇でとれたお米を、
首都圏の仲間に紹介しました。
するとあっという間に〇袋が完売しました。
安全安心な食材にこだわる人たちの気持ちは、
私の今までの生活でよくわかっています。**

ですから、自信を持って「〇〇の土地のものは安心だよ」と東日本で求めている人たちに紹介して繋いでいきたいのです。

安心・安全な農作物を生産している●●市。



放射能汚染対策をしている●●市。

そして西日本に移住を考えている人にとっては、こうした安全安心意識のある土地であれば、優先的に移住候補地にするはずでず。

我が家のように夫婦ともに東日本・○○出身で西日本に縁が無い人にとっては、移住を考えても候補地を決める際に決定的なものがなく途方にくれてしまいます。

そんな時、**安心・安全な農作物を生産している、放射能汚染に意識ある対策をしている場所は、その取組みがあるだけで「移住をしたい場所」となります。**

西日本のどこがいいだろうかと情報を集めている人はたくさんいます。

安心・安全な子育てができる

市。



「地産地消」の給食が出せる市。

同時に、西日本に移住を考えている人に向けて「〇〇に引っ越してくれば安心だよ」と、子連れ世帯に引越し候補地として紹介したいのです。

子育て世帯にとっては、その安心な土地で耕作されたものを利用した「地産地消」の給食も注目される取組みになります。

〇〇市はとても豊かな土地故、こうした取組みも可能ですし全国に注目される事は間違いありません。また、地元で耕作されたものの消費拡大に繋がります。

西日本も安泰ではいけない。



今、一度立ち止まって今後の〇〇市の発展の為にも放射能汚染について知る機会を持ってください。

私たちは東日本の現状、汚染の打撃を実際に体験しています。

それなのにいま、北九州市、敦賀、高浜、大阪市で瓦礫焼却が進み、西日本でも汚染が広がり、北九州では健康被害も出ています。

だからこそ、汚染されていない土地の貴重さがわかりますし、〇〇市の発展の為にも綺麗な土地を守りたいのです。

その為には汚染について知って対策する事が必要です。

汚染されていない聖地。

市の宝物を守ろう。

今はまだ汚染されていません。

いまや国内でも貴重な〇〇市。

今後もこのきれいな土地を守っていかなければ
この地の発展はありえません。